

室内にグリーンを飾りたいけれど、土を使うと汚い感じがするので、ためらっている……。そんな方にお勧めしたいのが、ハイドロカルチャーという、土のいらぬ栽培法です。ハイドロカルチャーなんて、聞いたことないという人も多いと思います。ハイドロとは「水」、カルチャーは「栽培する」という意味があります。簡単に言えば、水栽培のことです。清潔で簡単、誰でも楽しめるハイドロカルチャーを始めてみませんか??



●土を使わない、清潔な水栽培法

次のような点がメリットとなり、人気になっています。

- 土を使用しないので、部屋を汚す事も、虫が発生する事もなく、家中どこにでも置ける。
- 容器の底穴が不要なので、好きな入れ物が使える。
- 水やりは月に数回でよく、ケアが簡単。

ただし、植物を選ぶときは、ハイドロカルチャーに適したものを使うようにしましょう。

■ハイドロカルチャーに適した植物例

ポトス・セローム・シンゴニウム・ゼブラナ・テフスルヤシ・アイビー・ゴムの木・ベンジャミン
ガジュマル・ベゴニア・セントポーリア・シクラメン など…

●好きな容器に好きな植物を植込む

ハイドロカルチャーには、いろいろな楽しみ方がありますが、ハイドロボールを使った方法が、もっとも一般的で、簡単です。用意するものは、鉢植えの植物、ハイドロボール(大粒、中粒)、お好きな容器、根腐れ防止剤など…以下に詳しい作り方をご紹介しますので参考にしてみてください。



鉢から株を抜いて、土をざっと落とす。



ボールなどに常温の水を入れ、さらに土を洗い取る。



容器の底から2~3cmまで大粒のハイドロボールを入れ、中央に根腐れ防止剤を加える。



容器の中央に株を入れ、その周りから中粒のハイドロボールをきちんと詰めていく。



容器から見えるところにはみ出した根は、ヘラなどで、ハイドロボールの中に押し込む。



大粒と中粒のハイドロボールの境目あたり(容器の1/4~1/5)まで水を入れる。

●水やりと、置き場所に注意

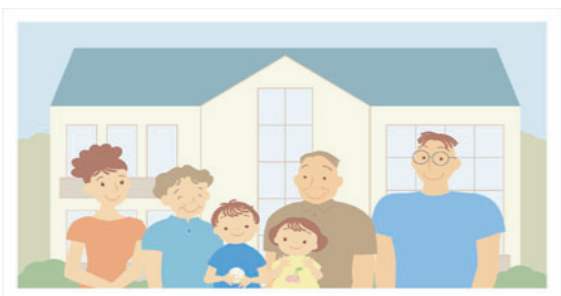
ハイドロカルチャーは、手入れがラクと言っても、水腐れや根腐れには十分な注意が必要です。水はやりすぎると根腐れをおこしてしまうので、完全になくなってから、元の分量の水を与えるようにします。一般的に、2週間に1回くらいが目安です。また、直射日光の当たる場所に置くのは厳禁。容器内の水温が高くなり、植物を痛めてしまいます。



水は、容器底の水が完全になくなってから与えましょう。容器の1/4~1/5が目安。



直射日光が当たらない場所に置くこと。冷暖房の風が直接当たる場所も避けましょう。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内

TEL (0898) 36-8182 FAX (0898) 36-8183

E-mail : toya-info@toya.co.jp

URL : http://www.toya.co.jp